広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場　編集 総務課
（電話 五城目 501番～505番）
印刷所 五城目印刷所　電話 571 番（一部五円）

春のかおり

むろ咲きの「コヨシノ」は、つぼみも大きくふくらんで、もう五分から七分咲き。ボツボツ市場へ出はじめ、人の足を止めています。いけ花やかざり花として需要も多く、早春のかおりをただよわせながら、一枝二枝と売られてゆきます。

（市場にて）

新しく選挙名簿に登録される方

三月一日までに申し出によって追加登録される選挙人名簿は、十一日から二十日まで縦覧させ、同時に異議の申し立てをすることになっていますので、かならず縦覧してください。三十日に確定されます。

市画都計

常演寺と墓地移転
直線道路来年できる

「上町通線都市計画街路事業」は、昭和三十九年度からすすめられていますが、このほど寺や墓地の移転の話し合いも済み来年度中には完成する見通しとなりました。

この都市計画事業というのは上町からまっすぐに山ノ手線へつなぐもので、この路線が完成することによって、米内沢方面…五城目…秋田市方面…との交通上、大幅に時間が短縮されるとともに、今町、田町方面の狭い自動車道の危険も解消されるほか、新築中の五城目小学校の通学道路にも直線で結ばれます

事業費総額は三千七百万円

各年度別の事業内容は

▽昭和三十九年度＝用地交渉及び用地買収。この事業費は六百万円です。

▽昭和四十年度＝用地買収並びに道路の一部新設。この事業費は六百万円です。

▽昭和四十一年度＝常演寺、小浜さん及び墓地の移転。この事業費は一千万円です。

▽昭和四十二年度＝街路新設、巾十二メートル、長さ二五八・五メートルで、全面舗装は街路事業完成後に行なう予定です。この事業費は約一千五百万円です。

なお、上町通線都市計画街路事業は、秋田県で施行しており財源は全体の九十四パーセントを国・県が負担、六パーセントを町で負担しています。

結核検診に大きな成果
婦人会の協力が実を結ぶ

本年度第二次結核集団検診は二月十七日から実施し、近年のない好成績をもって同月二十八日に終わりました。

このたびの集団検診は、五城目町婦人会（会長佐藤貞さん）の協力で実施したもので、いままでの検診は非常に成績が悪かったため、〃私どもの働きかけで一人でも多く受診されるよう特に、一度も検診を受けたことのない人々への啓蒙に力を入れ五城目町から結核を追放するよう努めたい〃という抱負のもとに実施し、予期以上の成績を収めたものであります。

金のかかる結核

結核治療のめざましい進歩によって、結核による死亡は非常に減っているとはいうものの、結核にかかる数はいぜんとして減っていないといわれています

結核は長期の療養期間を要し医療に要する費用も大きいし、家族の経済面のマイナスを考えた場合、結核予防の手をゆるがせにしてはならないと思います

町は毎年集団検診を実施し未発見の患者をより多く発見し感染者の数を増さないようにするとともに、いまわしい結核の追放に全力をあげておりますので、今後ともご協力くださるようお願いいたします。

中卒就職者を激励

本年三月、中学校を卒業して就職する少年少女は、全町で百八人あります。就職の内訳は①県外男子五、女二十七計四十二②県内男子二十七、女十八計四十五③町内男八、女二計十④自家男五、女六計十一、合計男五十五人、女五十三人となっており卒業生全体の二二・六％に当ります。

町ではこの若い豆腐士たちの就職を励まし、りっぱな社会人となることを願って、三月二十二日午前一時から中央公民館で激励会を催すことになっています。

修養団の亀岡氏来町
家庭の日の実践を視察

総理府の外郭団体である、修養団青年部次長亀岡重則氏は、二月十九日県児童福祉司伊藤実氏とともに本町を訪ずれ、「家庭の日」の運動の実態を視察しました。

まず、同氏等は、毎月の家庭の日をりっぱな企画のもとに実践している、馬目町村の伊藤くにさんを訪場ずれ、意見の交換を行なったのち馬場目小学校に立ち寄り、家庭の日に対する地域の役割について事情をきき、社会教育と学校教育の重要性について話し合いました。

その後、米沢町の荒川豊治さんが実践している〃家庭の日〃の実況を視察し、正午五城目町を出発しました。

なお、亀岡氏は全国の家庭の日を設けている都道府県を巡回し、その実情を調査しておりますが、特に、五城目町の場合、婦人会と商工会で実施した「家庭の日協力店」運動には、大きな関心を示しておりました。

納め忘れた国民年金保険料

昭和四十一年度分（四十一年四月から、四十二年三月まで）の国民年金保険料は、全部納めてあるでしょうか。もし、納め忘れなどで滞納になっていますと、年金の対象となる事故のあったときに、せっかくの年金が支給されないことがあります。

本年度の保険料は、四月三十日までに納めないと、納めるのに手続きがめんどうになりますので納期までにかならず役場住民課年金係へ納めてください。

国民年金は納めた保険料に、国庫負担を合せて積み立て、皆さんの生活安定をはかる制度です。

護岸をよごさないで

雪消えとともに、護岸のよごれがたいへん目立ちます。ごみをすてることは不衛生でもありまた、町の美しさをそこねます。ぜひ、自分の庭だと思ってごみをすてないでください。

（M）

生一年生
—314人—うれしい

小学校一年生になるこどもの数は、全部で三百十四人で、身体検査は来年の十二月に終っております。

入学するまでに、次のことがらを守っていただきましょう。

▼病気のこと　トラホーム、結膜炎、鼻カタル、へん桃線炎、アデノイド、耳の病気、ちくのう症、むし歯、皮膚病などを完全に治しましょう。

▼よい習慣をつける　①寝起きの時間をきまりよく②朝のうちにひとりで排便できる③食事前と便所へ行った後、手を洗う④ひとりで衣服をきることの四月ことし、ぬぐことができる⑤はなもひとりでかむ⑥友達とよかよく遊べる。

▼交通事故から守る　交通がはげしくなり、よほど注意しないと事故の心配があります交通のことを覚えさせるために、親もいっしょになって何回か、通学路の歩く練習をさせておきましょう。

【各学校の入学児童数】

五城目	一四一	（一三二）
馬川	一八	（一七）
馬場目	三三	（二九）
富津内西	一二	（一〇）
〃東	二六	（二〇）
〃川	二二	（一七）
内川	三〇	（三三）
大川	三三	（二八）
計	三一四	（二九六）

（カッコ内昨年の数）

写真　上は知能検査を　下は身体検査を受けるよい子たち

身元保証人の心得

三月ごろになると、よく就職や入学の身元保証人になってくれと頼まれることがあります。そればかりではなく、借金借家ある いは月賦で品物を買うときなど、この保証人を頼まれたり、頼んだりすることが多いものです。

平素心やすく往来している親類や友人であってみれば、お互に簡単に頼んだり、頼まれたりします。しかし、この「保証人」になることは、たいへんなことなのです。そこでつぎのことぐらいは心得ておくことです①保証人になる場合の責任の範囲をよく知っておく②就職の保証人の任務は、本人の在職中の一切の行為についての保証するもの

借金借家の保証人の責任です④月賦の保証人もいろいろ。品物の代金の不払いの問題③借家借室の保証人は、ほとんど家賃、室代の不払い問題の責任です④月賦の保証人もいろいろ。品物の代金の不払い責任を負わねばなりません⑤入学の保証人はおもに授業料の納入停学処罰問題などの保証人です。

三月一日までに申し出によって追加登録される選挙人名簿は、十一日から二十日まで縦覧させ、同時に異議の申し立てをすることになっていますので、かならず縦覧してください。三十日に確定されます。

広報サロン

ROOM

六日が啓蟄（けいちつ）。冬ごもりの虫が戸をひらいて、

そもそもとは出るという暦の文字をみていると、どこからか春のかおりがしてきそうなたつかしい季感がわく。

〇十八日は彼岸の入り。二十一日は春分―北国にも羽虫が乱舞し、根雪をきって何か月ぶりかに踏むくろ土の、その色とかおりに、新しい季節がひらく。

〇ひと雨ごとに気温は昇り、一日一日と春は色濃く、わたくしたちの周辺に緑の世界をくりひろげる…やよい三月よい季節。とはいっても、二月二十日仙台管区気象台の発表した、東北地方の三、四、五月の天気予報をみると、今年の春の天候は時々寒さの戻りがあり、寒暖の変動が大きく特に、四月下旬、五月上旬に晩霜のおそれがあるという。

〇つまり、雪解け、フェーン現象、春のあらしの天変もある。わたくしどもは心して、春をゆたかに迎えたいものだ

〇長い寒さが終わって、気がゆるむためか、火事が多い季節になる。大火になってからの後悔より、出さない用心がなによりで、煙突そうじや家のまわりの燃えやすいものを片づけ、ストーブをたいたら外に出て、火の粉などが飛んでいないか…など、細心の注意をしたいものです。

（M）

―― 非行は増加している ――
みんなで青少年を守ろう

明るく正しく成人することは世の親が願い、また社会が期待し、本人もそうありたいことです。

無関心でおったり、放任しておくと、とり返しのつかないことになります。それで家庭を中心に、少年の自主的計画による生活をさせるよう、指導する事が大事なことです。

たばこと酒は不良化のもと

不良化、犯罪化の原因として喫煙、飲酒その他の不良出版物などから受ける影響が大きいと思うのでありますが、少年をこのような外部の刺激から守るために、その主なる指導方法を申しあげますと

○学校で計画した行事には進んで参加させる。

○夜遊びや金づかいの癖をつけさせないようにする。

○盛り場などぶらつき歩いたりパチンコ、マージャン屋の出入りなどについて十分注意すること。

○睡眠薬などの使用については絶対にさせないようにすること。

○異性との不純な交際に注意すること。

○遠学や就職試験に失敗した不安、劣等感、不満などの暗い影をとりのぞいてやること。

○警察も地域の関係機関、団体もそろして町の人びとも少年たちのために立派に成人できることを祈り、成人できるように努力しようではありませんか。

今回は特に学年末の少年補導について考えてみましょう。

少年は心身ともに発育の過程にあるので、おとなとちがって変ったこと、珍らしいことなどに飛びつきやすく、その反面判断力がとぼしく環境に左右されることが少なくありません。

学年末、卒業期の休みに入ると緊張感から急に解放された気分になり勝であります。

明るく正しい生活をさせるよう、指導する事が大事なことです。

護国神社の百年祭

秋田県護国神社は明治二年八月、佐竹侯が創建したもので、五城目地区少年保護育成委員会以来、現在までに三七・三二五柱の戦病没者の英霊をまつっております。（昭和四十三年）はちょうど百年に当るとのことで「御鎮座百年記念兼祝大祭」を行ない、英霊の偉徳を顕彰し、感恩の誠をささげることになっております。

その経費としての浄財を全県民からお願いしたい旨、奉賛会並びに県護国神社宮司より、依頼ありましたので、お知らせいたします。

全町室内球技講習

次の要領で全町の室内球技講習会を開催しますから、多数ご参加ください。

▽主旨　スポーツの生活化をはかり、明るい家庭、明るい郷土をつくる。

▽主催　町体育指導委員会、同体育協会

▽日時　三月五日（日曜）午前十時

▽場所　五一中体育館

▽種目　家庭バレーボール、バトミントン

▽対象　生徒を除いた全町民

▽指導者　県体育指導委員、町体育指導委員

当日は駅伝対抗試合も行なう。

農地報償の請求

期限は三月末日

農地を買収された方の給付金請求は、三月三十一日までに県知事に提出しなければ、報償金はもらえなくなりますまだ請求書を提出していない方は、至急手続きしてください。（総務課）

昭和四十二度「社会教育推進基本方針」案

本町の社会教育活動が、真に住民のしあわせをねがい、その実現を期するため、次の「三本の柱」と「六つの運動」をとりあげ、広く住民の理解と協力のもとに、その活動を力強く展開するものであります。

○社会教育推進「三本の柱」

一、一般教育活動の推進

（各種講座・学級等の開設・団体の育成・成人式・社教大会等の開催・文化財保護・新生活運動の推進・その他）

二、生産を高める学習の推進

（農近ゼミの開設・各種集団の育成・各種講座・講演会開催・視察調査・大会の開催・その他）

三、健康をたかめる社会体育の推進

（各種講習・大会の開催・機関団体の運営・社会体育モデル公開一年次・その他）

○社会教育推進「六つの運動」

一、社会道徳を広める運動

（公徳心の高揚・人間愛・郷土愛を高める・関係機関・団体との連携協力）

二、青少年の健全育成運動

（家庭の日の普用・青少年に愛の呼びかけ・関係機関・団体との連携協力）

三、明るく正しい選挙の推進運動

（くらしを高め、社会を明るく豊かにするために他機関団体と連携協力）

四、健康を高める運動

（検診総参加・献血総参加・運動・歩こう運動等・他機関団体と連携協力）

五、災害の防止運動

（交通事故防止・火災予防運動・人命尊重――不幸な子を生まない運動・他機関団体と連携協力）

六、合理生活推進運動

（生活設計をたてる・環境衛生・美化を図る・他関係機関団体と連携協力）

これらを基本として四十二年度の社会活動を進める考えですので、住民各位の広く暖かいご援助を期待します。

（中央公民館）

史跡めぐり
伝統の五城目市場
――その三――
分銅志静

写真の絵は米沢町の和田タンス店にたわっているもので、天才画人平福穂庵が何仁の前田へ行く途中、五城目に泊して市場の模様をスケッチしたものだと言われている。昨年の暮れ、秋田放送を通じて、奈良環之助先生に鑑定をお願いしたところ、穂庵にまちがいなかろうという話であった。

日本画家で市場のスケッチをこのような構図でとらえるということは、当時としては穂庵以外に考えられないことである。穂庵は「地蔵まいり」や「夕涼み」などでもわかるように、群衆のうごきをとらえるのに妙を得ていた。この絵も遠近法などをいかして、市場の全体の雰囲気をとらえ、しかも一人一人の表情、身振りなど、そのまま浮きぼりにしている。絵の上の方には意匠のよいイサバ屋の姿がかかれていて、そのお客を呼ぶ姿が生きていて、まけてやるぞという声が聞えてくるような気がする。また下の方には高シャッポをかぶり、カバンを下げた一風かわった姿の男が立っている。髭をたてておっとりとしている。この男は宮山の薬売りで、カバンの中には、マンキタンなどの薬がはいっていて、それを売り歩いているのである。また中ほどにはアメ売りの姿も見え、肩にアメのはいったダンゴをかつぎ、チャルメラのようなラッパをならしている。仙台市から出ている「駄菓子」という本に、今このラッパをならせる人は、秋田市の飯島に一人いるだけで、著者の石橋幸作氏は三年この人にかよって一人前になったとかいてある。その真もゆうのラッパも絵の中に出ている。私達の少年時代には、まだこのようなアメ売りがいて、四ツ角などで、ピーロー、ピーローと鳴らしていた。五城目リボンのコザ小路の渡辺竹太郎というアメ売りがその最後の人であった。また絵の左はしに、市日の名物膨揚げ茶屋が出ており、のれんの前に丸マゲのアネさんが立っている。五城目市は当時は朝から晩までこの市の茶屋で、一杯の人達はこの市の茶屋で、一杯のんで景気をつけたり、にしめでお昼をとったりしている。仙台市から出ている「駄菓子」という本に、今このラッパをならせる人は、秋田市の飯島に一人いるだけで、著者の石橋幸作氏は三年この人にかよって一人前になったとかいてある。その真もゆうのラッパも絵の中に出ている。私達の少年時代には、まだこのようなアメ売りがいて、四ツ角などで、ピーロー、ピーローと鳴らしていた。五城目リボンのコザ小路の渡辺竹太郎というアメ売りがその最後の人であった。

二月十九日森山のふもとで全町スキー教室を開きました。この教室は五城目体育指導員、同体育協会合同による年中行事で講師は五城目営林署関、神成両氏を迎え、「スキーの理論と実技」について、二百五十名の参加者は熱心に指導を受けました。

写真

熱心に講習を受けるスキーヤーたち

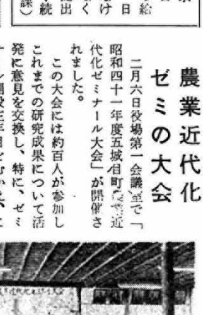
……森山で全町スキー教室……

※最近五城目町地域内の少年非行は増加の傾向にあります。特に、不純異性交遊ら万引、家出などで警察に補導される少年が多いことはまことに残念なことです。

五城目警察署

五城目地区少年保護育成委員会

（写真　平福穂庵の市日の図）



（写真　盛会だった農近ゼミ大会）

農業近代化ゼミの大会

二月六日役場第一会議室で「昭和四十一年度五城目町農業近代化ゼミナール大会」が開催されました。

この大会には約百人が参加しこれまでの研究成果について活発に意見を交換し、特に、ゼミナール開設三年目をむかえ、これまでの歩みをふりかえり、今後の活動の指針にしようというもので、発表の中で特に小玉イミさんの「農村家庭の実態」が注目されました。発表あとの、東北米の会長、寒河江欣一氏（山形県川西町）の〆寒冷地帯における合理的な稲作〆と題して講演が行なわれました。

所得税の確定申告3月15日まで

昭和四十一年分の所得税の確定申告は、三月十五日までですが期限に遅れないよう、申告してください。なお、申告後、間違いや、申告もれがあれば、修正申告または更正の請求ができることになっています。

通勤手当の非課税限度額引上げ

所得税法の一部改正で、通勤手当の非課税限度額が、次のとおり引き上げられました。

▽有料の交通機関などの利用者は、いままで千六百円が二千四百円に。

▽自転車などの交通用具の利用者（原動機付のもの）は、いままで五百円が五百八十円に同（その他のもの）は、いままで四百五十円のものが五百円に。

◎昭和四十二年一月一日以後に支払をうけるべき通勤手当から適用されます。ただし、昭和四十二年一月一日前に受けるべき通勤手当の差額として追給されるものは適用されません。（秋田北税務署長）